

あゆのさと

第 8 号 令和 5 年 1 月 発行



目 次

- 1 表 紙
- 2 施設長挨拶・かけはし
- 3 ライフサポートあゆの里
- 4 ワークセンターあゆの里
- 5 サポートハウスあゆの里
- 6 あゆの里秋祭り
- 7 こうさんぽ (甲佐町紹介)
- 8 干支紹介・お知らせ・新人紹介



**明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。**



障がい者支援センターあゆの里
施設長 福島 正剛

昨年を振り返ると7月以降新型コロナウイルス感染者が断続的12月まで生じました。感染した利用者の方々には別部屋で過ごしていただきました。この間、ワークセンターで提供している就労継続支援B型や生活介護の通所を一時休止いたしております。通所を利用している皆様には本当にご迷惑をおかけしました。また、コロナ感染者が出て以降、利用者の皆さんには外出自粛をしていただいております。不自由をおかけしております。今年は、コロナにかからない、コロナを持ち込まないを合言葉に、万全のコロナ対策を講じていきたいと考えております。

このように障がい者支援センターあゆの里もコロナ禍に見舞われた結果、令和4年度の事業計画の完遂は困難な状況となっております。

本年は、生涯発達・成長の観点から関係的主体性を育み障害がある人の未来を支援するという基本ミッションのもと、あゆの里7か年戦略で定めた「①支援の質の向上、②学習する組織の形成、③経営基盤の安定化」の実現、「人格の力の形成」、「社会力の形成」、「働く力の形成」という3つの力が向上するよう支援していきたいと考えております。

本年はうさぎ年です。うさぎ年は、飛躍と向上の年だそうです。この干支にあやかりあゆの里も飛躍と向上の年にしていきたいと思っております。

令和5年が明るい希望に満ちた年であるように祈念するとともに、皆さまのご多幸とご健康をお祈りいたします。

こんにちは 相談支援センター かけはしです

COLUMN かけはし その④

意思と個性が形づくるもの

清水 豊一

『屋外に出て眺める。眼下にビルや家々の屋根が立て込んでいる。しかし、その眺めは何か空しい。人々の生活ではなく、その容器だけが見えるゆえだろうか。』

(徳永 恂 「現代思想の断層」より)

私はこれまで全国の様々な街を訪れたが、どこの町のメイン通りも同じ大手企業やチェーン店の看板で埋まり特徴が見出せない。これまでヨーロッパの国々や中国、韓国などを訪れ、人々の生活の表出と歴史を内包した街並みの人間味豊かな空気感に酔いしれた。

街を作るのは人々であり、意志の反映である。つまり日本の街はそこに生活する人々の意思に反し、他の力(意思)で成り立っている気がする。あるいは街づくりに意思が反映されていないともいえる。特徴がなく生活が見えない、均一的な無味乾燥な社会に陥っているのではないか。

「人」も「街」と共に個性の集まりであれば楽しい。相談支援専門員の立場からは相談者本人の意思あるいは「内なる意思」を生かすためには、制度や福祉サービスありきではなく、まずは本人の生活や環境、歩んできた歴史等、時空を超えたランドスケープを見渡し、この中から今、何がニーズなのかを一緒に探求することである。その上で相談者の希望に合致した、「福祉サービス」、「人」や「環境」を提示し、選択していただくことに心がけていきたい。

今、福祉の世界で「意思決定の尊重」がキーワードになっている。相談者の意思を発展させるためには、私たち相談支援専門員自身の明確な思想、意思とパーソナリティが欠かせない。効率や前例にばかりに囚われることなく、「できない」を「どうしたらできるだろう？」に変えていくポジティブシンキングを続けることがこのキーワードの扉を開けるカギになる。単なる容器の集まりではなく個性が集積した社会を作っていきたい。



イタリア オルビエートの町

施設入所・生活介護・短期入所
 **ライフサポートあゆの里**

料亭で食事会 コロナで外出が出来なかったあゆの里も、数年ぶりに「料亭さかもと屋」で食事会 ✨



新しいなかま

11月1日より **吉村祐貴さん**



週末の自宅帰省を楽しみにしながら、元気に過ごされています。

宮崎真治さん 3位入賞



スペシャルオリンピックス
 広島大会に出場。
 バスケットボール部門で
 見事3位入賞！



火災を想定した避難訓練

火災を想定した避難訓練。
 就寝直前に火災の放送が…。
 眠い体を頑張って起こし、
 緊張した様子で園庭に避難した
 利用者の皆さん。
 お疲れ様でした





就労継続支援B型

ワークセンター あゆの里

甲佐町では、
まちのあちらこちらで、
花壇が整備されています



「花と緑と鮎のまち」



まちの景観を彩る花たちは、
あゆの里のみんなで作っています



立派な白菜とれました！



地域の物産館などで
販売しています



畑ではレタスや白菜など、
いろいろな野菜作りにも挑戦しました

共同生活援助
サポートハウスあゆの里

GH男子ごはん

今回はグループホーム男性職員が男性利用者さん達と一緒に夕食を作りました。

まずは、野菜の皮むきの様子

いつもは世話人さんが美味しい食事を作ってくれ、調理をしない男性利用者さんが不慣れながらも人参、ジャガイモ、玉ねぎの皮むきに挑戦!!



次に野菜のカット

「大きさはどのくらい?これくらいで良いの?」と男性利用者さん。男性職員「男子ごはんなので男らしく大胆に良いよ」と助言(笑) 出来上がりがこちら。



人参やジャガイモ、玉ねぎを男らしくカット出来ました。

食事を作る工程に男性利用者さん「大変だけど面白いね」と貴重な体験をされ楽しんでいましたよ。



そして鍋で炒める、煮込む

お鍋を用意し少量の油を入れ、男らしくお肉を投入。少しばかり油跳ねがあり「あちっ」と言われながらもお肉を焼き焼き。

お肉が焼けてきた所でカットした野菜も男らしく投入。少し炒め水を入れる際に「どのくらい入れるの?」と男性利用者さん。男性職員「男子ごはんなので男らしくで良いよ」(本日2回目)の助言(笑)

しばらく煮込んでいると男性利用者さんから「お米は炊いた?」との声。すっかり忘れており急遽お米の仕込み。

4合のお米を洗いながら「どのくらい洗えば良いかな?」と男性利用者さん。そこは、頃合いを見て助言をしてみました(笑)

待つこと1時間、ついに夕食の完成

みんなで協力して作った夕食がこちら。



(テツテレ〜ツ)

超大盛男子カレー



自分たちで悪戦苦闘して作ったカレーのお味は「うまい!!」と皆さんペロリでした。

あゆの里秋祭り

令和4年11月8日（火）

3年ぶりに外部の方も招いてのふれあい感謝祭開催を予定していましたが、コロナ第8波の兆しがあり断念。

あゆの里利用者及び職員のみで「あゆの里秋祭り」を開催しました。手作りの会場イベントを楽しみ、特製のお弁当とデザートいただきました。



今年の司会！



ダンス



クイズ・ミニゲーム



豪華なお弁当とデザートを堪能しました！



あゆの里へ行くついでに
甲佐の名所へちょっと寄り道

こうかんぽ Vol.4

甲佐町のいろいろをお伝えするコーナーです。

正月太りの解消にはやっぱりスポーツ!甲佐町に
新しく出来た総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」
で気持ちよく汗をかいてみませんか。

総合運動公園 「緑川リバーサイドパーク」



あゆの里から約5km、
緑川の川沿いを車で10分
程度走った安津橋の両側に
大きな広場が見えてきます。



野球・ソフトボール場



おいの〇太!!
野球やるぞ!!

野球・ソフトボールが
各1面、ナイター設備も
完備しています。

サッカーコート



W杯!奇跡の数三!!

人工芝と天然芝が1面ずつ。
週末には子ども達で賑わって
います。

グランドゴルフ



8ホール×4コースの計
32ホール。あゆの里でも利
用者と何回も利用しています。

テニスコート



エア・ケイ
俺様の美技に酔いな!!

テニスコートは8面。
適度な運動で長く続けた
いならコレ!

町外の方でも少し料金は変わりますが利用できます。
施設でのイベントや職員の交流に使用してはいかがでしょうか!

甲佐にはまだまだ楽しいところがいっぱい!これを見たら是非甲佐に遊びに来てね!
もちろんあゆの里にも寄っといで☆

ワークセンター 干支紹介

今年は卯年

福を招く縁起物の干支の置き物ができました。



こちらから
お買い求め
いただけます。



- 干支親子 1,400円
- 干支単体 1,300円
- 干支ミニ単体 900円
- 絵馬 600円

お知らせ

昨年7月に法律文化社から出版された『新たな時代の社会保険法』（定価7,200円+税）に福島施設長の論稿「社会モデルから見た障害者就労支援」が掲載されました。興味と関心のある方は手に取ってごらんください。なお、編集者は山田晋・広島修道大学教授、石田道彦・金沢大学教授、平部康子・佐賀大学教授、西田和弘・岡山大学教授、丸谷浩介・九州大学教授です。

編集後記

今号も、あゆの里広報誌をお読みいただきありがとうございます。あゆの里もコロナの影響で活動全体が限られたものになっていましたが、皆さまの協力もあり沢山の活動を行うことができました。コロナに負けない、身体も心も温まる活動を今後も企画していきたいと思っております。(係)

職員新人紹介



ライフサポートあゆの里
(施設入所・生活介護・短期入所)

平山 佳奈

令和4年10月1日から

一日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



ライフサポートあゆの里
(施設入所・生活介護・短期入所)

釜 龍介

令和4年11月1日から

他施設での経験を活かして頑張ります！よろしくお願いいたします。

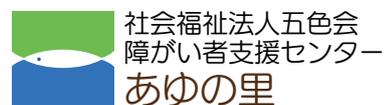


ライフサポートあゆの里
(施設入所・生活介護・短期入所)

亀谷 祐輔

令和4年11月7日から

皆さん初めまして。一日でも早く皆さんと仲良くなれる様に頑張ります。



熊本県上益城郡甲佐町津志田 2472 番地
TEL 096-234-4311 FAX 096-234-4308